



2006年3月27日(月)

シティバンク、ゲルダウ・アソミナス社(ブラジル)既存製鉄所近代化プロジェクト向け融資を実行

シティバンク、エヌ・エイ東京支店は、平成18年3月24日付で、ブラジル屈指の製鉄会社であるゲルダウ・アソミナス社が行う既存の製鉄所近代化プロジェクトに対し、2億6千7百万米ドル相当円(約310億円)融資をリードアレンジャーとして組成しました。シティバンク、エヌ・エイ東京支店が幹事行として全額を引受け、アレンジャーに三井住友銀行、他5行を一般参加行として協調融資を行いました。本件は日本における制度金融においては近年にない全額引受案件です。この融資については、独立行政法人日本貿易保険が海外事業資金貸付保険を付保致します。

弊行は、「BRICs」向けビジネス拡大に注力しております。2006年1月には国際協力銀行との協調融資によりロシアの携帯電話事業会社であるメガフォン社(Open Joint Stock Company MegaFon)に対する輸出代金貸付契約を締結しました。今後も弊行グループのグローバルネットワークを活かしながら、制度金融をはじめ「BRICs」における日本企業のビジネスチャンス拡大をサポートしていきたいと考えています。

###

制度金融：国際協力銀行及び日本貿易保険との協調融資

ゲルダウ・アソミナス社(Gerdau Acominas S.A.)について:

ゲルダウ・アソミナス社は、主に鋼片、線材、構造用鋼材等を生産する製鉄会社で、同社によれば単一企業としてはブラジル最大級の粗鋼生産量を誇ります。本邦大手製鉄会社より技術移転を受けるなど日本との関係も深く、日本の高い技術力を操業の基盤としています。同社は、2005-2007年にかけて生産力の増強を目指しており、同社が今般調達する資金は、既存製鉄所における生産能力向上・生産効率の改善・生産コスト削減を目的とした当該近代化プロジェクトの一部に充てられる予定です。

ブラジルは、原油や鉄鉱石など豊富な天然資源に恵まれ、「BRICs」の一翼として近年経済が急拡大しています。特に鉄鋼産業は、石油化学、自動車、公益事業とともに四大基幹産業の一つとして位置付けられており、これまでブラジル経済全体の拡大に重要な役割を果たしてきました。ゲルダウ・アソミナス社は、本プロジェクトによる粗鋼の増産や生産の効率化を通じて、更なる競争力強化を図ることを目指しています。

このリリースに関するお問い合わせ先
シティグループ、コーポレート・アフェアズ・オフィス
Tel: 03-5462-6703